

中低層の比較的整形な建築物の事例解析を通じた  
構造計算プログラムの適用方法に関する調査検討・報告書

目次

第1章	はじめに	
1.1	目的・背景	1-1
1.2	既往の研究と取り組み	1-2
1.3	調査検討体制	1-3
1.4	本書の構成	1-4
第2章	プログラム間でのばらつき実態に関する調査	
2.1	建築物事例群Ⅰを用いた調査	2-1
2.1.1	建築物事例群Ⅰについて	2-1
2.1.2	建築物事例群Ⅰの基本モデルと計算結果	2-3
2.1.3	建築物事例群Ⅰの派生モデルと計算結果	2-26
2.2	建築物事例群Ⅱを用いた調査	2-64
2.2.1	建築物事例群Ⅱについて	2-64
2.2.2	建築物事例群Ⅱの基本モデルと計算結果	2-68
2.2.3	建築物事例群Ⅱの派生モデルと計算結果	2-89
2.3	まとめ	2-96
第3章	鉄筋コンクリート造二次壁付き架構の構造実験と一貫構造計算プログラムの適用性	
3.1	はじめに	3-1
3.2	実験概要	3-1
3.3	実験結果	3-6
3.4	各種一貫構造計算プログラムによる静的漸増解析	3-11
3.5	まとめ	3-22
第4章	まとめ	
4.1	本調査結果について	4-1
4.2	構造計算プログラムの適用のあり方についての考察	4-2
付録A	梁段差を有する鉄筋コンクリート造柱梁接合部の構造実験	
A.1	はじめに	A-1
A.2	実験概要	A-1
A.3	実験結果および考察	A-5
A.4	まとめ	A-37

付録 B 壁付き試験体及び純ラーメン試験の破壊経過に関する実験資料

B.1 本実験資料について..... B-1